

「関西はひとつ」でトップ・プロモーション

シンガポール事務所

2010年12月の発足から5年を迎える関西広域連合は、「関西」の認知度向上・誘客促進を目指して、関西経済界等とも連携し、今年9月にはフィリピンおよびマレーシアで、11月にはベトナムでトップ・プロモーションを実施しました。

構成団体の知事、副知事、部局長等が参加し、各国の政府・自治体との意見交換、旅行業協会・エージェントへのプロモーション、関西観光セミナー・交流会、KANSAI観光大使の委嘱などに加えて、関西広域連合が包括連携協定を締結しているイオンの店舗で、一般の方に直接PRを行いました。

クレア・シンガポール事務所が活動支援を行ったホーチミン市内の大型商業店舗イオン・タンフーセラドン店での「関西観光展」は、関西からの進出企業、旅行会社と共同で開催され、関西広域連合の法被を着て各地のパンフレット等を配布するなど「関西」のPRを行いました。



ベトナムでは、大阪、京都、神戸の知名度は高いものの、「関西」全体の認知度はまだ低く、訪日観光客の増加が見込まれる中、一般の方に直接「関西」全体の観光情報を知っていただく機会となりました。

アセアン諸国では、自治体単位で行われるトップ・プロモーションが多くみられますが、関西広域連合の取り組みは、自治体間の連携による取り組みの参考になるのではないのでしょうか。

(徳永調査役 兵庫県派遣)